

科目名	特別演習（五十嵐）						
	【卒業必修】						
授業形態	演習	学年	2年	開講時期	通年	単位数	2単位
担当教員	五十嵐 啓太						

内容および計画	各自で選定した保育・幼児教育領域、主として言葉に関係する卒業論文を完成させるための論文指導、研究論文の書き方、研究報告の仕方などを理解する。また、本科目を受講することによって、次の点を理解することを目標とする。1.文献講読から発表の方法・資料収集法などを体験的に学習し、理解する。2.自分の考えを相手（読者）にわかりやすく伝える技術を身に付ける。3.資料の探し方を理解する。4.論文の組み立て方、論理的な書き方を理解する。5.引用・参考と出典の示し方や文献表の書き方を理解する。以上の学びを踏まえ、適切な論文作成のための技術を身に付けることができる。						
1	イントロダクション：人の（主として幼児の）言語活動に関する基本的な事項を紹介する。また、各自の興味・関心を発表してもらい、卒業論文のテーマを探る。						
2	文献講読（学術的な知識を深めるだけでなく、論文の構成方法や先行研究のまとめ方、参考文献の作成方法など論文執筆に必要な基礎的知識を学ぶ）						
3	文献講読（学術的な知識を深めるだけでなく、論文の構成方法や先行研究のまとめ方、参考文献の作成方法など論文執筆に必要な基礎的知識を学ぶ）						
4	文献講読（学術的な知識を深めるだけでなく、論文の構成方法や先行研究のまとめ方、参考文献の作成方法など論文執筆に必要な基礎的知識を学ぶ）						
5	文献講読（学術的な知識を深めるだけでなく、論文の構成方法や先行研究のまとめ方、参考文献の作成方法など論文執筆に必要な基礎的知識を学ぶ）						
6	文献講読（学術的な知識を深めるだけでなく、論文の構成方法や先行研究のまとめ方、参考文献の作成方法など論文執筆に必要な基礎的知識を学ぶ）						
7	文献講読（学術的な知識を深めるだけでなく、論文の構成方法や先行研究のまとめ方、参考文献の作成方法など論文執筆に必要な基礎的知識を学ぶ）						
8	文献講読（学術的な知識を深めるだけでなく、論文の構成方法や先行研究のまとめ方、参考文献の作成方法など論文執筆に必要な基礎的知識を学ぶ）						
9	文献講読（学術的な知識を深めるだけでなく、論文の構成方法や先行研究のまとめ方、参考文献の作成方法など論文執筆に必要な基礎的知識を学ぶ）						
10	文献講読（学術的な知識を深めるだけでなく、論文の構成方法や先行研究のまとめ方、参考文献の作成方法など論文執筆に必要な基礎的知識を学ぶ）						
11	文献講読（学術的な知識を深めるだけでなく、論文の構成方法や先行研究のまとめ方、参考文献の作成方法など論文執筆に必要な基礎的知識を学ぶ）						
12	文献講読（学術的な知識を深めるだけでなく、論文の構成方法や先行研究のまとめ方、参考文献の作成方法など論文執筆に必要な基礎的知識を学ぶ）						
13	文献講読（学術的な知識を深めるだけでなく、論文の構成方法や先行研究のまとめ方、参考文献の作成方法など論文執筆に必要な基礎的知識を学ぶ）						
14	文献講読（学術的な知識を深めるだけでなく、論文の構成方法や先行研究のまとめ方、参考文献の作成方法など論文執筆に必要な基礎的知識を学ぶ）						
15	文献講読（学術的な知識を深めるだけでなく、論文の構成方法や先行研究のまとめ方、参考文献の作成方法など論文執筆に必要な基礎的知識を学ぶ）						
16	文献講読、もしくは、学生による研究発表（いずれの場合も、議論の時間を十分に設け、教員や他の学生と意見を交換しながら考えを深める）						
17	文献講読、もしくは、学生による研究発表（いずれの場合も、議論の時間を十分に設け、教員や他の学生と意見を交換しながら考えを深める）						
18	文献講読、もしくは、学生による研究発表（いずれの場合も、議論の時間を十分に設け、教員や他の学生と意見を交換しながら考えを深める）						
19	文献講読、もしくは、学生による研究発表（いずれの場合も、議論の時間を十分に設け、教員や他の学生と意見を交換しながら考えを深める）						
20	文献講読、もしくは、学生による研究発表（いずれの場合も、議論の時間を十分に設け、教員や他の学生と意見を交換しながら考えを深める）						
21	文献講読、もしくは、学生による研究発表（いずれの場合も、議論の時間を十分に設け、教員や他の学生と意見を交換しながら考えを深める）						
22	文献講読、もしくは、学生による研究発表（いずれの場合も、議論の時間を十分に設け、教員や他の学生と意見を交換しながら考えを深める）						
23	文献講読、もしくは、学生による研究発表（いずれの場合も、議論の時間を十分に設け、教員や他の学生と意見を交換しながら考えを深める）						
24	文献講読、もしくは、学生による研究発表（いずれの場合も、議論の時間を十分に設け、教員や他の学生と意見を交換しながら考えを深める）						

25	文献講読、もしくは、学生による研究発表（いずれの場合も、議論の時間を十分に設け、教員や他の学生と意見を交換しながら考えを深める）
26	文献講読、もしくは、学生による研究発表（いずれの場合も、議論の時間を十分に設け、教員や他の学生と意見を交換しながら考えを深める）
27	文献講読、もしくは、学生による研究発表（いずれの場合も、議論の時間を十分に設け、教員や他の学生と意見を交換しながら考えを深める）
28	文献講読、もしくは、学生による研究発表（いずれの場合も、議論の時間を十分に設け、教員や他の学生と意見を交換しながら考えを深める）
29	文献講読、もしくは、学生による研究発表（いずれの場合も、議論の時間を十分に設け、教員や他の学生と意見を交換しながら考えを深める）
30	文献講読、もしくは、学生による研究発表（いずれの場合も、議論の時間を十分に設け、教員や他の学生と意見を交換しながら考えを深める）

教科書	授業で扱う文献については適宜配布します。
-----	----------------------

参考書	学生の興味・関心に応じて、適宜紹介していきます。
-----	--------------------------

成績評価	評価方法		割合
	課題提出		10%
	口頭による研究発表		20%
	論文（議論の流れ・テーマ設定・先行研究のまとめ等を総合的に評価する）		70%

学習到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 論文を作成するための技術を身に付ける（議論の展開方法・先行研究のまとめ方・参考文献の作成方法等） 学術的な思考方法を身に付ける。 他者との議論で、積極的に自らの意見を伝える姿勢を身に付ける。
--------	---

先修条件	
------	--

その他	
-----	--